

目次

第30回研究発表大会のお知らせ	1p	収支計算書	4p
支部報告	2p	学会後援行事等のお知らせ	5p
代議員(社員)総会・理事会報告	3p	学会からのお知らせ	5p
正味財産増減計算書	4p		

第 30 回研究発表大会のお知らせ

第 30 回地理情報システム学会研究発表大会は、10 月 30 日（土）・31 日（日）にオンラインで開催いたします。企画セッションと研究発表（講演およびポスター）について、下記の日程で受付を行います。

発表申込スケジュール

企画セッションの申込期限

7 月 15 日(木) 正午

研究発表（講演およびポスター）の申込期間

7 月 1 日(木)～7 月 15 日(木) 正午

講演論文集用原稿 PDF のアップロード期間

7 月 1 日(木)～8 月 31 日(火) 正午

参加費

決定次第、学会 Web でお知らせします。

1. 企画セッション

シンポジウム・ワークショップ・ハンズオン・チュートリアル・GIS 技術紹介など形式は問いません。1 セッション[1 時間 40 分]を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。

個人会員・賛助会員が、セッション企画を提案いただけます。特に、各分科会の成果発表を行うまたとない機会ですので、積極的な企画提案をお願いいたします。

■ 企画セッション申込

受付期間： 7 月 15 日(木)正午まで

申込先：井上大会実行委員長宛 (rinoue@tohoku.ac.jp)

申込要領： 下記の情報をメールでお知らせください。

1. セッション企画名
2. 種類（シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッションなど）

3. 代表者の氏名、所属、メールアドレス
4. 概要（400 字程度）
5. 必要セッション数
6. 学会で用意する Zoom（上限 100 名）利用の有無
7. 想定出席者数

企画の実施可否は、7 月 30 日（金）までにメールでご連絡致します。なお、開催日時ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承下さい。

2. 研究発表

講演発表とポスター発表があります。投稿された論文ファイルは、大会 Web ページで公開します。なお今年度は、講演発表・ポスター発表を重複して行うことはできません。

講演発表：地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で、原則として未発表のものに限りです。また、独創性・完結性がないものの発表は認めません。論文提出が必要です。

ポスター発表：研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも構構です。自由で活発な情報交換の場としてご利用下さい。論文提出は必須ではありませんが、提出された原稿は公開します。大会 Web ページへのポスターの掲載、ポスター紹介セッションの開催、コアタイムにおけるオンライン会議ツールを活用した質疑応答を予定しています。

講演発表・ポスター発表共に、商業宣伝的な内容は認めません。企画セッションにお申し込み下さい。

なお、大会での発表後、(1)「GIS 上級技術者」への申請や、(2)「測量系 CPD 学習プログラム」への登録が可能です。(2)については、希望者は大会終了後の当該年度内に、事務局に

氏名と発表論題をお申し出ください。講演・ポスターの発表者に CPD ポイントが付与されます。

■ 応募資格

- (1) 発表者は、学会の個人会員（正会員・学生会員）、あるいは、賛助会員枠で指定する（1口につき1名）個人に限ります。ただし、共同研究者（連名者）については会員資格の有無は問いません。
- (2) 発表者となるのは、1名につき1題に限ります。ただし、以下は認められます。
 - ・ 他の発表の共同研究者（連名者）になること。
 - ・ 通常セッションと特別セッションの両方で発表を行うこと。
- (3) プログラムで指定された日時に発表できること。発表日時の指定は受け付けません。また、プログラム編成上の都合により発表総数を制限する場合があります。
- (4) 会員は、2021年度までの年会費完納者であること。

■ 発表申し込み手続き

1) アブストラクトの提出

受付期間: 7月1日(木)～15日(木)正午（必着）

EasyChair

<<https://easychair.org/conferences/?conf=gisa2021>>

で申し込みを行って下さい。

※ EasyChair の利用方法は、大会 Web ページの説明書をご覧ください。

※ 入力された氏名・論題を大会 Web ページに掲載します。
受付期間終了後の修正は一切受け付けませんので、予めご了承ください。

発表の可否は、7月30日（金）までに学会 Web に掲載するプログラムでご確認下さい。個別のご連絡は行いません。

2) 講演論文集用原稿の提出

受付期間: 7月1日(木)～8月31日(火)正午（必着）

※ PDF 形式の発表論文原稿を EasyChair にアップロードして下さい。

※ 作成要領は、大会 Web ページに掲載するテンプレートファイルをご覧ください。 なお、2020年度より「GIS-理論と応用」の書式とし、ページ数の上限を10ページとしています。

- ・ 受付期間外に提出された原稿は一切受け付けられません。発表を取り消させて頂きますので、予めご了承ください。
- ・ 使用言語は日本語または英語とします。
- ・ 発表者に連絡がつきにくい可能性がある場合は、申込の際に確実な連絡先も明記して下さい。原稿の不備等で連絡を差し上げる場合があります。
- ・ 発表原稿の編集・出版の権利は、地理情報システム学会

に帰属します。

3. 第17回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベル向上を図るため、「大会優秀発表賞」を設けています。以下の条件を満たす方が審査対象です。

- ・ 本学会の学生会員であること（2021年7月15日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。ただし、2021年度までの年会費完納者）
- ・ 修士号未修得であること。
- ・ 講演の発表者であること。

研究（論文）内容や発表技術の優秀者からセッション司会者が受賞候補者を推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター120号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol.29, No.2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月15日（月）までに A4 用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

4. 第10回ポスターセッション賞

ポスターセッションでの議論の活性化を図るため「ポスターセッション賞」を設けています。ポスターセッション発表者全員が審査対象です。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター120号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol.29, No.2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は11月15日（月）までに A4 用紙1枚の原稿提出にご協力下さい。

支部報告

■ 東北支部研究交流会 開催報告

2021年3月9日（火）に2年ぶりに東北支部研究交流会をオンラインで開催し、東北地方の大学の研究者や学生から、計12件の話題提供が行われました。COVID-19による人間活動変化の分析や、バス運行データに基づく公共交通サービス評価、リモートセンシングデータに基づく農産物の収量予測、不動産賃料形成要因の空間的異質性分析、天気図に基づく気候区分などの地域分析や、点事象集積検出や人流ネットワーク解析に関する解析手法の提案、BIM/CIM と GIS の統合化に関する提案、GIS 教育認定プログラムの実施状況報告など、地理空間情報に関する多岐にわたるテーマについて紹介が行われ、30名弱の参加者を得て活発に議論されました。

代議員(社員)総会・理事会報告

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第77回理事会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時：2021年5月29日(土) 13時30分～14時40分
開催場所：オンライン (ZOOM) 開催

理事10名が出席し、定足数を満たして成立した。

審議事項：

第1号議案 2020年度事業報告について

- ・山本事務局長から、配布資料にもとづき、2020年度の実業報告が行われ、承認した。

第2号議案 2020年度決算と会計監査について

- ・大場財務担当理事から、配布資料にもとづき、2020年度の決算と会計監査について説明があり、引き続き玉川監事、小口監事から監査報告がなされ、承認した。

第3号議案 2021年度事業計画について

- ・山本事務局長から配布資料にもとづき、2021年度の実業計画について説明があり、承認した。
- ・第30回学術研究発表大会はオンラインで開催することとした。

第4号議案 2021年度予算について

- ・大場財務担当理事から配布資料にもとづき、2021年度の予算について説明があり、承認した。

第5号議案 諸規則の改正および制定について

- ・大場総務担当理事から、資料にもとづき、諸規則の改正および制定について説明があり、2021年5月30日(日)からの施行も含めて決定した。

第6号議案 選挙管理人の選出について

- ・山本事務局長から、資料にもとづき、選挙管理人の選出について説明があり、承認した。

第7号議案 測量CPD学習プログラムの申請について

- ・山本事務局長から、資料にもとづき、測量CPD学習プログラムの今年度の追加申請について説明があり、運営に関する委員会と分科会・支部の活動、学会誌の論文等を追加申請することが承認された。事務局と山本事務局長が具体的な追加申請方法を検討し、決定後に周知することとした。

第8号議案 優良表彰事例「ESRI ジャパン賞」の設置について

- ・中谷教育担当理事から、資料にもとづき、優良表彰事例「ESRI ジャパン賞」の新設について説明があり、承認した。詳細については、教育委員会でも今後検討することとした。

報告事項(一部議決事項を含む)：

報告1 職務執行状況について

- ・貞広支部・分科会担当理事から、資料にもとづき、各支部・分科会の活動計画・予算案、四国支部長の交代について説明があった。
- ・厳企画担当理事から、資料にもとづき、4月9日(金)に開

催された企画委員会の議論の内容について説明があった。

- ・河端広報担当理事から、資料にもとづき、ニューズレター第118号の発行予定、Facebookの掲載記事について説明があった。
- ・中谷教育担当理事から、資料にもとづき、今年度の活動と課題について説明があった。また、シンフォニカ機関紙「ESTRELA」に特集記事4件が掲載されたこと、古今書院の月刊「地理」4月号に2021年度教育優良事列表彰募集の広告が掲載されたことが報告された。
- ・奥貫編集担当理事から、資料にもとづき、審査手続き中の論文等について説明があった。
- ・大伴資格担当理事から、資格認定、GISCA メールマガジン、GIS 名誉上級技術者、GIS 交流プラットフォームについて説明があった。GIS 交流プラットフォームは、社会情勢を考慮しつつ、開催形態と時期をGISCA 有志で検討中であることが報告された。

報告2 入退会会員について

- ・資料をもとに確認を行った。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第17回社員総会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時：2021年5月29日(土) 15時00分～16時00分
開催場所：オンライン (ZOOM) 開催

本年度の社員総数43名のうち28名が出席し、8名が議決権書面を提出したことから、本総会は定足数を満たして成立した。

審議事項：

第1号議案 2020年度事業報告について

- ・山本事務局長から配布資料にもとづき説明があり、賛成多数でこれを承認した。

第2号議案 2020年度決算と会計監査について

- ・大場財務担当理事から配布資料にもとづき説明があり、引き続き玉川監事から監査報告がなされた。賛成多数でこれを承認した。

報告事項：

報告1 2021年度事業計画について

- ・山本事務局長から配布資料にもとづき報告された。

報告2 2021年度予算について

- ・大場財務担当理事から配布資料にもとづき報告された。

その他：

- ・厳副会長から、GIS 教育タスクフォースの設立、企画委員会によるYouTube コンテンツの作成について紹介された。
- ・若手会員分科会の代表の相代議員から、GIS 実技系オンライン講義アンケートの昨年度の成果と今年度の継続、学術研究発表大会での若手会員分科会主催学生セッションについて紹介された。

正味財産増減計算書

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,002	241,340	-240,338
受取会費	12,130,000	12,326,000	-196,000
過年度受取会費	19,000	46,000	-27,000
大会参加費	340,000	1,306,000	-966,000
刊行物収益	1,704,306	1,388,560	315,746
資格・教育認定事業収益	135,000	245,000	-110,000
受取補助金等	30,000	730,000	-700,000
雑収益	1,702,267	330,573	1,371,694
経常収益計	16,061,575	16,613,473	-551,898
(2) 経常費用			
大会開催費	486,758	1,716,868	-1,230,110
刊行物制作費	2,151,600	2,287,090	-135,490
分科会運営費	8,000	18,080	-10,080
委員会運営費	629,500	877,496	-247,996
特定寄付	50,000	30,000	20,000
本部事務局運営費	11,381,607	11,782,891	-401,284
地方支部運営費	135,422	331,543	-196,121
経常費用計	14,842,887	17,043,968	-2,201,081
評価損益等調整前当期経常増減額	1,218,688	-430,495	1,649,183
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	1,218,688	-430,495	1,649,183
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,218,688	-430,495	1,649,183
一般正味財産期首残高	69,836,697	70,267,192	-430,495
一般正味財産期末残高	71,055,385	69,836,697	1,218,688
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	71,055,385	69,836,697	1,218,688

収支計算書

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
特定資産運用収入	0	1,002	-1,002
会費収入	12,535,000	12,130,000	405,000
過年度会費収入	0	19,000	-19,000
大会参加費収入	1,405,000	340,000	1,065,000
刊行物収入	1,400,000	1,704,306	-304,306
資格・教育認定事業収入	425,000	135,000	290,000
支部事業収入	246,000	0	246,000
補助金等収入	0	30,000	-30,000
雑収入	80,000	1,702,214	-1,622,214
事業活動収入計	16,091,000	16,061,522	29,478
2. 事業活動支出			
大会開催費支出	1,255,000	486,758	768,242
刊行物制作費支出	2,380,000	2,151,600	228,400
分科会支出	442,000	8,000	434,000
委員会費支出	1,550,000	629,500	920,500
特定寄附収入	50,000	50,000	0
支援費支出	90,000	0	90,000
本部事務局運営費支出	12,300,000	10,737,695	1,562,305
地方支部運営費支出	863,000	135,422	727,578
事業活動支出計	18,930,000	14,198,975	4,731,025
事業活動収支差額	-2,839,000	1,862,547	-4,701,547
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	-2,839,000	1,862,547	-4,701,547
前期繰越収支差額	53,847,747	53,847,747	0
次期繰越収支差額	51,008,747	55,710,294	-4,701,547

学会後援行事等のお知らせ

■ 空間情報シンポジウム 2021（共催）

テーマ：空間情報がもたらすデジタル変革の可能性
 主催：株式会社インフォマティクス
 会期：2021年7月13日(火)～14日(水) オンライン開催
 詳しくは以下の Web ページでご確認ください。
<https://www.informatix.co.jp/sympo2021/>

学会からのお知らせ

■ 2021 年度地理情報システム学会賞募集（既報）

今年度の「地理情報システム学会賞」の応募期限が近づいています。「研究奨励」「学術論文」「ソフトウェア・データ」「教育」「著作」「実践」の6部門です。
 締切は7月15日（木）です。応募方法は以下の Web ページでご確認ください。
<https://www.gisa-japan.org/awards/index.html>

■ 2021 年度 初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰（既報／新賞設置）

本年度も表記の表彰事業を実施します。国土交通大臣賞（総合的な観点）、地理情報システム学会賞（GIS の効果的な活用の観点）、日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）、今年から新設の ESRI ジャパン賞（GIS の教育的な利用の観点）の各部門があります。
 募集要項および過去の授賞については、以下の Web ページでご確認ください。受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。
<https://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>
 応募締切は2021年8月31日(火)17:00 必着です。

■ ニュースレターの配信方法について（広報委員会）

前号より、ニュースレターのメール配信を始めています。1年間の移行期間（郵送およびメール配信）を経て、ニュースレター120号からメール配信に一本化します。
 ニュースレターは発行され次第、学会 Web の「Hot Topics」からご覧いただけますが、現在メールニュースの配信を希望されていない会員の方も漸次、メーリングリストに加える作業を行います。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、過去のニュースレターは、学会 Web の「トップページ」→「GISA 案内・ニュース」→「News Letter」でご覧になれます（今年度で予定している学会 Web リニューアル後は、掲載場所が変わる可能性があります）。

メール配信にすることで、テレワーク等で手元に紙媒体のニュースレターがない場合でも、電子ファイルで閲覧で

きるようになる上、写真等はカラーでご覧いただけるようになります。

■ 委員会、支部、分科会への ZOOM の権限貸与について

本学会では、学会活動を活発化するために、各委員会、支部、分科会の会議に限り、学会事務局の ZOOM の権限を貸与します。

- ご希望の方は、以下のルールに従ってお申込みください。
1. 事務局に原則として 1 週間前までに事前申請する。会議の設定・開催は各グループの自由裁量とする。
 2. ホストのグループを明示する。
 3. 会議終了後には、開催記録（開催日時、参加者等）の基本情報を事務局に報告する。
 4. 会議は必ずパスワード付きで開催し、第三者には明かさない。

■ メールニュース受信についてのお願い

BCC または配信先が多数のメールを受信できない設定の企業等団体の方で、学会メールニュースをお読みにになりたい方は、個人のメールアドレスを事務局までお知らせください。また、アドレスが変更になった場合は、変更届の提出をお願いいたします。
<https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

■ メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信しています。
 内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主ですが、掲載をご希望の方は、以下をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。
<https://www.gisa-japan.org/news/request.html>
 なお、ニュースの配信は、毎月第 2・第 4 金曜日を目安にしています。

■ 会議の場所をご提供します

分科会（SIG）、委員会、支部など、学会活動に関することで会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の 10:00～17:00

注意：インターネットのご利用は出来ません。

2021 年 5 月末現在の個人会員 1024 名、 賛助会員 49 社

賛助会員

朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NTT タウンページ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東甲信越東海 GIS 技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州 GIS 技術研究会、近畿北陸 G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 支援センター、GIS 総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)昭文社、(株)ゼンリン、玉野総合コンサルタント(株)、中四国 GIS 技術研究会、デジタル北海道研究会、東北 GIS 技術研究会、(株)ドーン、長野県 GIS 協会、にいがた GIS 協議会、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、東日本総合計画(株)、北海道 GIS 技術研究会、(株)マップクエスト、(株)松本コンサルタント、三菱電機(株)、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター

自治体会員：経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">●自治体：小泉和久（千葉県浦安市）
事務局：青木和人（あおき gis 研究所）
Tel : 050-5850-3290
E-mail : kazu013057@gmail.com●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）
Tel : 03-5379-5601
E-mail : info@georetail.tokyo●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）
Tel : 0774-38-4333
E-mail : hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp●地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京）
Tel : 042-677-2601
E-mail : wakaba@tmu.ac.jp | <ul style="list-style-type: none">●FOSS4G : Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)）
Tel : 049-244-4032
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp●若手分科会：相尚寿（東京大学）
Tel : 04-7136-4302
E-mail : hisaai@csis.u-tokyo.ac.jp●IoT と GIS : 敵網林（慶應義塾大学）
Tel : 0466-49-3453
E-mail : yan@sfc.keio.ac.jp |
|---|---|

地方支部の連絡先一覧

- | | |
|---|---|
| <p><北海道支部>
支部長：株式会社ドーコン 三好達也
連絡先：NPO 法人 Digital 北海道研究会（内）
Tel: 011-299-8104, E-mail : gisahokkaido@dghok.com</p> <p><東北支部>
支部長：東北大学 井上亮
Tel : 022-795-7478, E-mail : rinoue@tohoku.ac.jp</p> <p><中部支部>
支部長：中部大学 福井弘道
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel : 0568-51-9894 (内線 5714)
E-mail : satoru@isc.chubu.ac.jp</p> <p><関西支部>
支部長：大阪工業大学 吉川眞
連絡先：田中一成（大阪工業大学）
Tel : 06-6954-4293, E-mail : gisa@civil.oit.ac.jp</p> | <p><中国支部>
支部長：広島修道大学 川瀬正樹
Tel : 082-830-1210, E-mail : kawase@shudo-u.ac.jp</p> <p><四国支部>
支部長：香川大学 野々村敦子
Tel : 087-864-2146
E-mail : nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp</p> <p><九州支部>
支部長：九州大学 三谷泰浩
Tel : 092-802-3399, E-mail : gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp</p> <p><沖縄支部>
支部長：琉球大学 町田宗博
E-mail : mmachida55@gmail.com
連絡先：澤崎直彦(NPO 法人沖縄地理情報システム協議会)
Tel : 098-863-7528, E-mail : takushi@nansei-m.co.jp</p> |
|---|---|

■ 編集後記 ■

編集作業は初めての経験だったこともあり、昨年同時期のニューズレターを大いに参考にさせて頂きました。昨年の大会案内では、会場開催かオンライン開催かを検討中との記載…。授業にせよ行事にせよ、どのように運用するかで悩み、パタパタの連続であった 1 年前が思い起こされました。一方、今年の「オンラインで開催いたします」との記述に何の違和感も持たなくなっていることにも不思議さを感じます。

良くも悪くもオンライン慣れをしてしまった我々ですが、長くコンピュータやデジタルデータを扱ってきた GIS 学会だからこそ、対面とオンラインが絶妙のバランスを保つ学会運営の先駆となれるのではと感じます。

吉川 耕司（大阪産業大学）

地理情報システム学会ニューズレター

第 118 号 ●発行日 2021 年 6 月 25 日

■ 発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <https://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

紙面がカラー化されたので、これを機に、事務局の様子も時折はお知らせしようと思います。

「弥生雑記」の弥生、というのは事務局所在地の地名です。東京大学の本郷キャンパス、農学部の弥生地区、工学部の一部がある浅野地区に囲まれた場所にあります。あの、弥生式土器が発見された町です。

当時は記録の方法が未整備で、残念ながら土器のピンポイントの発見場所は、はっきりとは分からなくなっていました。

しかし、旧町名案内や遺跡案内に近接して、浅野地区の言間通りに面した場所に、記念碑が立っています。（学会事務局）

